３つの森林活動

みなさまの参加を
お待ちしております

小原本陣の森

第１・３日曜日

知足の森

第１・３日曜日

相模湖・嵐山の森

不定期活動

News Letter

NPO法人緑のダム北相模
midorinodam.jp

No.517-518

GTE LABとの協働が本格的に始まりました

【定例活動報告】知足の森

第１日曜日の活動より

　先月から引き続き、学芸大Explayground推進機構のラボの一つであるGREEN TECH ENGINEER LAB、通称GTEラボとして中学生が参加しはじめました。活動自体は、望星高校ボランティア部、高井戸中＋三鷹二中地球環境部と同じで、その時々で活動しやすい形、ということで、子どもたちは「ラボの活動」と呼んでいます。そんな中、７月の第１日曜日は８月の体験学校で使っている沢の下見を兼ねての活動になりました。昨年の台風で大きく地形が変わってしまっているところもあり、その影響も見つつ、倒木なども片付けつつ、ノコギリの基本的な使い方も体験しつつ、の活動で、２０名近い中学１年生が活動を始めました。参加した生徒の感想をご紹介します。

宮村　連理（本会、副理事長）

緑のダム北相模は相模原市内で活動する森林ボランティアです。急がず、無理せず、楽しく、休まず、 ボチボチと・・。

今回の活動は川を歩いて倒れている木などを切り、横によけるという活動だった。
普段図工の授業などで木を切る時は真っ平な作業台の上だが、今回は真っ平な所など一つもない、それも川の中。その中で、石のくぼみを使ったりするなど、どこか木を切るのに使えそうな場所はないかと考えることが楽しかった。
また、工作などで木の板をノコギリで切ったことはあっても、自然界に倒れていたり生えていたりする大きな木をノコギリで切ったことはなかった。木の板を切るのに比べると自然界の木の方がよっぽど力も必要だったし、また、一人で木の板を切るのとは違い、木を切る人だけでなく、木を持ち上げたり、支えたりする人が必要で、何人かで協力しなければできない作業だった。
これから先の活動でもみんなで協力しないとできないことがたくさんあると思う。みんなで協力してやり遂げる達成感と楽しさをまた味わいたい。

飯室　智春（GREEN TECH ENGINEER LAB 中学１年）

私は今回沢に行っていろいろなことを感じました。その中でいい勉強になったことと楽しかったことがあります。まず勉強になったのは前日に雨が降っていたので沢が少し濁っていたということです。こうなることは知識としては知っていましたが実際に経験するのとは全く違いました！これからもたくさん知っていけると思うとワクワクします！
もう一つは、沢に行くまでの自然災害で起きた現象です。すごく太い木が倒れていたのにびっくりしました。みんなで切ろうとチャレンジしたのですがなかなかきれなくて自然の力はすごいなと勉強になりました！他にもすごく大きく簡単には崩れない岩が崩れていたことが驚きました。一緒にいた方が「前回はなかったのになぁ」っと言っていたことで気づきました。これも自分で体験しないと感じられないことなので行けてよかったです！
そして楽しかったことです。学校が始まって間もなく友達も少なかったのですが一緒に作業をすることで普通に話すよりも仲良くなれた気がします！やっぱり共同で作業し汗水流すとうちとけられますよね！それぞれの素が見えるので面白かったです！
活動の方で楽しかったのは自然と触れ合えたことです。こんな世の中でなかなか山へ行けなかったり、川に行けなかったりしていたので、ストレスが溜まっていましたが自然と触れ合うことで心が軽くなった気がします！
最後に、活動を通して自然の力の凄さやいつも森をきれいにしている人たちの気持ち、友達との関係がよくわかりました！気を切ったり森をきれいにしたり、こういうことってなかなか経験できないことだと思うのでいい経験になるし自分自身の楽しみにもなりました！これから活動を通してもっともっとたくさんのことを知っていき自分も次の世代に伝えられるような大人になりたいです！

満行　杏梨（GREEN TECH ENGINEER LAB 中学１年）

桜井尚武の森のコラム

「オニグルミ (*Juglans mandshurica* var. *sachalinensis*)」

図1 オニグルミの葉と果実

20070616嵐山相模湖畔

図2 雌花

20080503原当麻相模

図3 オニグルミ雄花

20130518塩山

図4 食痕のあるクルミ

20100212日大水上演習林

図5 図5 葉の一部が黄変したオニグルミ

20110818日大水上演習林

クルミ科の落葉高木、北海道から九州までの山地帯の沢沿いに主に分布します。葉は長さ40～60㎝の大型の奇数羽状複葉で互生し、卵形で鋭頭の対生する低い鋸歯がある小葉を7～9組つけます（図1）。葉柄葉軸には若枝同様密に細毛や繊毛があり、葉の裏にも密な星状毛があって毛深いと感じます。比較的大きな果実を沢山房でつけるのがテウチグルミやカシグルミなどの他のクルミとの違いです（図1）。雌雄同株で雌花は可愛らしい赤い雌しべを目立たせ（図2）、雄花は垂れ下がります（図3）。

クルミは森にすむ動物、特にリスやネズミの大事な食糧です。夏の間に彼らの貯蔵庫に格納しておいたものが時折見つかります。その中に齧られたものがあるのを冬の日本大学水上演習林実習の時に山道脇で見つけました（図4）。同行の動物専門家はアカネズミの食痕ですねえと言っていました。リスは殻の縫合線に沿って二つに割り中の滋養に富んだ仁（子葉）を食べるので区別できるそうです。種子の殻を砕いたものを自動車などのスノータイヤのゴムに混ぜ込んでスリップ防止用に使うのだそうですが、それ程硬い殻をこのように齧り開けたり二つに割ったりする齧歯類の能力には驚くばかりです。

この種が主に分布する沢沿い一帯にはいくつかの大きな羽状複葉をもつ高木種がありしかも葉は高い所にあるので見分けるのが存外難しいものです。ですが、オニグルミは8月頃から葉の一部が鮮やかな黄色に変わるのが目立つので他の種と異なる区別点となります（図5）。

材は気乾比重が0.53程度と比較的軽い割には緻密で硬く狂いにくいため色々なものに重用されました。とくに銃床に最適とされていたのが有名です。銃床とは小銃の銃砲などなど金属部分を支える部分です。現代では机などの家具材として人気があります。アメリカのブラックウォールナットという高級材はこれもクルミの仲間です。

桜井　尚武（本会、会員）

【若者の森づくり】地球環境部

第３日曜日の活動より

第３日曜日は再び感染者の増加、特に神奈川県で、ということだったため、中学生は今一度おやすみに。この日は森林整備班のみなさんとまず物置を置かせてもらっている小原で庭木がはみ出しているので、切ってほしいというリクエストから始まり、午後からは長福寺に。ここで、横浜国立大鎌倉小学校の先生と合流して、授業の素材作りの協力。森を一緒に歩いたり、教材になる写真をとってもらったり、中学生の時から参加している大学生２名はインタビューも受けていました。さらにその小学校の先生方にも細かったですが、間伐体験をしてもらいました。

その後再びみなさんで合流して、体験学校の竹ドームシアターを設置する場所の下見、そのアプローチまでの草刈りなどを行いました。電動の刈り払い機の使い勝手も良く、作業はあっという間に終わりました。暑いので無理はしないように、と思いつつもついつい夢中で作業し、あっという間に１日が終わりました。

宮村　連理（本会、副理事長）

参加にあたって：

初参加者は、9時15分までにJR相模湖駅前に集合です。服装、持ち物については、汚れても良い服装、着替え、滑らない靴　成るべく皮製手袋、万一の怪我に備えて保険証、飲料水、主食、昼食

危機管理・救急対応：

危険管理・救急体制・森林ボランテイア保険の準備の他、会として可能な限りの体制を敷いていますが「怪我・事故は、自己責任」です。

NPO法人
緑のダム北相模

名称：特定非営利活動法人　緑のダム北相模
現地事務局：〒252-0172　相模原市緑区与瀬本町12　かどや食堂内
支援団体：セブン-イレブン記念財団
積水ハウスマッチングプログラム、国土緑化推進機構
コンサベーション・アライアンス・ジャパン
協働団体：神奈川県、相模原市、麻布大学、マルモ出版、
東京学芸大学環境教育研究センター、
（社）東京学芸大EXPLAYGROUND推進機構、
（社）さがみ湖 森・モノづくり研究所、ウッドバンク㈱

緑の募金　一般財団法人 セブン-イレブン記念財団　SEKISUI HOUSE MATCHING PROGRAM　CAJ Conservation Alliance Japan 一般社団法人 コンサベーション・アライアンス・ジャパン